

2017 AUTUMN

SEASON



写真：選書ツアー展示

ISSN 1349-3760



コラム 高見 一正 教授



第12回読書展



「創立者の語らい」電子化記念
Soka Book Wave アワード



「学生選書ツアー」開催！



図書館掲示板



探検心を芽吹かせる 図書館!!

理工学部 情報システム工学科

高見 一正 教授

西暦二〇〇〇年が近づくころに、ユビキタスコンピューティングの技術が実用化され始めた。超小型化され、それらが相互に通信できる機能を持ったコンピュータがいたるところに偏在し、人々の生活を支援することを目指していた。人間が生活する空間、移動する場所にコンピュータが寄り添い、人々の状況（困っている、迷っている、寂しい気分、他）を察して、人々を優しく助ける。高性能のコンピュータが組み込まれたスマートフォンもユビキタスコンピューティングのヒューマンインターフェースを提供する一つの端末として普及している。また、簡易なコンピュータを薄いフィルム内に加工して張り込み、電波を送受信できるアンテナも備えた

R F I D (Radio Frequency Identification) -tag (写真1)も低価格で製造できるようになった。このようなタグには電池は内蔵しなくても、周囲のセンサ、等の電磁波を感じて、演算器とその内蔵プログラムを起動できる。

その一つの応用例が図書館での蔵書の管理である。図書の一冊一冊にこのタグ（写真2）を貼り付け、貸し出しと返却の効率化に寄与している。借りたい図書を専用のタグ読み取り装置にかざすだけで借りられる。また、返却処理も同様に簡単である。学生証も類似の技術でカード化されているので、貸出者入力手順も簡明である。さらに、貸出統計処理も迅速にできる。

ここからは、将来の応用例を利用シーンで示す。図書を

にはコンピュータが寄り添っている、返却期日が近づくと貸出者に図書館の貸し出しサーバからのメール通知もあるかもしれないが、気づかなかった時は、図書のタグから近接無線通信を使って、スマートフォン等にそれと無く通知し、注意を促す。通知先はその人の在圏場所に応じて、様々なディスプレイに表示される。例えば、部屋の中では、パソコンを使っていると図書のタグが反応してそのパソコンの画面にポップアップされる。テレビを見ている時も同様である。パウダールームにいるときは鏡に表示されるかもしれない。また、キッチンで料理しているのなら、冷蔵庫の扉やキッチンテーブルに表示させることもできるかもしれない。また、借りた図書

が部屋の中でどこに在るかわからなくなった場合は、「いまどこ?」と話しかけるだけで、インテリジェントスピーカーから置いてある部屋の場所から、例えば「冷蔵庫の上にいるよ!」と返答してくれるかもしれない。

話し合い、そこまでのルートを見つける。本人が歩き始めると中継するタグが「ここをまっすぐ」「その角を右」のように音声又はディスプレイ表示で案内してくれる。ルートは必ずしも最短ではない。個人の興味と一致する図書が配列されている経路を通知し、それらの書籍を見ながら歩くことで、潜在する嗜好への気づきを与えることもできる。

また、タグが自身の書架と棚の位置を認識して管理サーバに自律的に送信すれば、一元管理にも支障はない。このようない図書の場所までナビゲーションしてくれるとありがたい。例えば、図書館に入り、スマートフォンに書籍名を入力すると近くのタグが通信を開始し、希望の書籍のタグと

で勉強中に読書中の書籍に関連する書籍とその位置、読んでいるページのタイミングを見計らって、レコメンドしてくれば、興味の深さが深まり、図書館で一日をゆつくり読書で過ごすことができる。電子書籍が普及し、実物の書籍を手にとって、読む機会が少なくなっている。ネットでのバーチャルな探索も楽しいが、これと同じような仕組みで図書館内をさ迷いながら体感できる探検を組み込むと新たな知識の発見の楽しさも倍増す。No. AI (Artificial Intelligence : 人工知能) という人々の流れと書籍の貸出し状況、借りた個人の嗜好に関するデータを学習させ、よりアトラクティブな書籍配置が見えてくるかもしれない。



写真1: RFID-tag の原型の例



写真2: 図書に貼り付けられたタグ

第12回読書展

創大祭が開かれた10月8・9日に、中央図書館で Soka Reading Project (SRP) による読書展が開催されました。

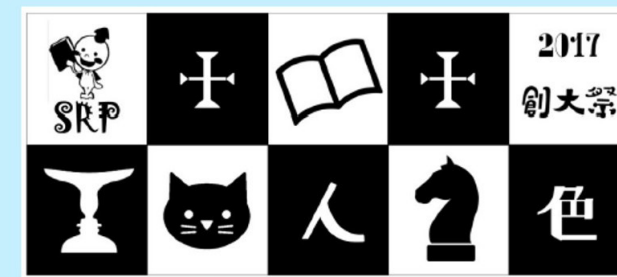
今年の読書展のテーマは「十人十色〜本の顔〜」と題し、本の表紙、装丁についての研究発表の展示を行ないました。

1階の展示ブースでは絵本・児童文学、ファンタジー、恋愛、ミステリー、歴史の5つのジャンルから本を選び、デザインの特徴や作成の仕方など様々な視点からみた研究発表をおこないました。展示をご覧頂いた方からも「装丁をとりあげたのは今までにない観点で面白く拝見した」「読みたいと思える本の紹介が多く楽しかった」「今は機器で読む時代でも、本にふれ紙の香りを嗅ぐと気持ちが落ち着く」「過去読書した作品を思い出した」「本の顔で内容を想像することを改めて感じた」等、好評の声をいただきました。

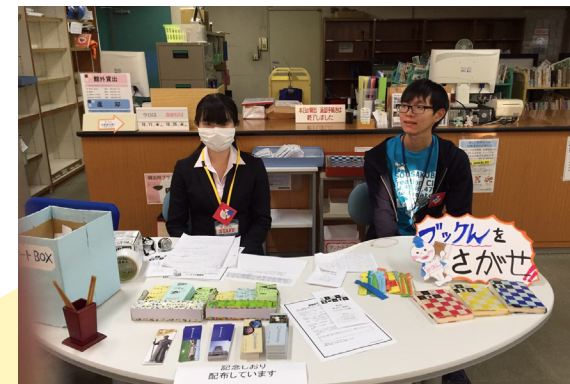
この他にも本棚を模したポスターに、お気に入りの本のタイトルを加えて本棚を完成させるコーナーや、2階プラウジングルームではビブリオバトルの開催、SRPのメンバーが、来館された方のお気に入りの本の魅力をアドリブでプレゼンするなど、盛りだくさんの内容でした。

十人十色〜本の顔〜

第12回 読書展 十人十色！本の顔



Soka Reading Project

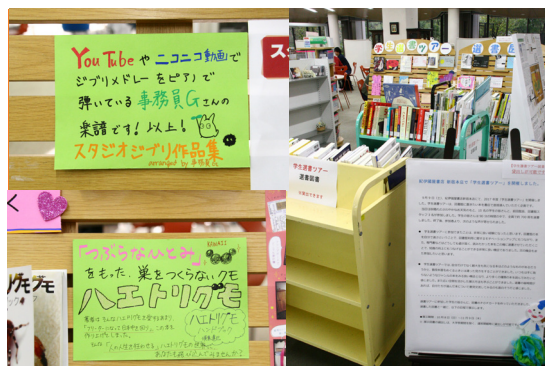


『学生選書ツアー』開催！

9月9日（土）、紀伊國屋書店新宿本店にて、「学生選書ツアー」を開催しました。学生選書ツアーは、図書館に置きたい本を書店で直接選んでいただく企画です。

当日は秋晴れのさわやかなお天気のもと、15名の学生の皆さんと、前田館長、図書館職員3名が参加しました。学生の皆さんは90分の時間の中で、全員で約700冊を選書しました。

今回選書された図書は、参加者の手作りによる本に対する思いが籠った紹介POPと共に展示されました。



学部生・短大生対象 『創立者の語らい』電子化記念 Soka Book Wave アワード

『創立者の語らい』の電子化を記念して、Soka Book Wave アワードを行います。

Soka Book Wave アワードとは、対象図書を読んで、優れた感想文を提出した方に図書カードを進呈する企画です。

今回は『創立者の語らい』第1巻～第5巻から優れた感想文を提出した方に500円分の図書カードを進呈します。

図書カードの進呈は毎月上位10名です。電子で読むのはもちろん、紙の本で読んでも構いません。投稿をお待ちしています！

【対象図書一覧】

『創立者の語らい』第1巻～第5巻

※電子版では現在のところ第2巻まで閲覧できますが、毎月、閲覧できる巻次が増えていく予定です。

【期間】9月13日（水）～12月20日（水）

【対象】学部生・短大生・別科生・留学生（※言語は日本語のみ）

【Soka Book Wave アワードの応募方法】

1. Soka Book Wave に登録する
(新規ユーザー登録はこちら <https://lib.soka.ac.jp/SokaBookWave/entry/kiyaku.php>)
2. Soka Book Wave のウェブサイトから各月の「月間アワード対象図書」から感想文を提出する

- ・アワードの入賞者の発表は直接、メールでご連絡します。
- ・翌月の中旬に中央図書館カウンターで図書カードをお受取ください。
- ・なお、感想を投稿すると、優れた内容の感想文はウェブに公開されます。

『創立者の語らい』電子版についてはポータルサイトをご覧ください。

中央図書館
開館日程

通常開館時間

8 : 30 ~ 21 : 00

休館

9 : 00 ~ 21 : 00

10 : 00 ~ 19 : 00

10 : 00 ~ 17 : 00

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2018年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

冬季長期貸出のお知らせ

日に日に寒くなりキャンパスの木々も色づき始め、秋の到来を感じる季節となってきました。12月8日から冬季休業に伴う長期貸出期間が始まります。何かと忙しい年末ですが、図書館で借りた本でホッと一息、こたつの中でみかんとお茶をお供に読書に浸りませんか？

学部生・短大生・別科生などの2週間貸出者

12月8日（金）～12月25日（月）

大学院生・教職員・学外利用者などの4週間貸出者

12月8日（金）～12月12日（火）

一斉返却日

2018年

1月11日（木）

ひざ掛けをご用意してます

11月に入り、八王子も寒い日が続くようになってきました。中央図書館ではカウンター前に貸し出し用のひざ掛けをご用意しています。昼間は暖かかったけど、夜になってきて冷え込んできたときは遠慮なくひざ掛けをご利用ください。